

薬科大学での講義について

○九州保健福祉大学 薬学部

講演日時：2021年12月6日（月）13:10～14:40

形式：WEBによるリモート講義

テーマ：「ご存じですか？ジェネリック医薬品」

講師：酒井 佑介（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会ニュース・講演部会長）

概要：薬学生向けの啓発活動の一環として、九州保健福祉大学の高村先生に1コマをいただき「学生向け教育資材」をもとに講義を行い、5年生71名の学生の方にご聴講いただきました。

参加された学生の方々からのお声を一部、ご紹介いたします。

- ・医療費についても詳細に説明されており、その結果ジェネリック医薬品がどう活かされているのかが分かりやすかった。ジェネリック医薬品に先発品から変更したきっかけについての説明では、薬剤師が深くかかわっていることが理解できた。ジェネリック医薬品の開発からの流れも載せて説明していただいたため、知らない部分も理解できたのは良かった。
- ・もし患者様に GE 医薬品について質問があった際に、適確に回答するほどの知識がなく、なぜ安いのか？に対して既に新薬で有効性、安全性が確かめられているため、研究開発費が安くなっているからという具体的な内容を知り、よく理解が出来ました。また添加物は違うが問題はないか？に関しては、添加剤自体、有効成分の治療効果を妨げるものであってはならないと定義があるため、問題ないと答えられる点に関して初めて知りました。生物学的同等性の意味や対象、その中の溶出試験に関して詳しく理解をすることが出来ました。GE 医薬品のさらなる使用促進のため、課題から今後の方向性を決めて毎年様々な取り組みをしていることを初めて知りました。薬剤師として生物学的同等性、添加剤、化学的な根拠に基づいて GE 医薬品を選択できるようにならなければならないと思いました。

- ・実習中に後発医薬品に使用されている添加物と先発品に使用されている添加物について調べ、複数ある後発医薬品の中から1つに絞るという体験をしたことがあったが、その時は何となくで見ていた添加物の影響についても考える必要があるということ。特に糖尿病患者さんに対する後発医薬品の選択に関する観点が参考になった、「また生物学的同等性に関する内容でも、今まで学んでこなかった許容域の考え方等に関しても理解しやすかった。先述したように、先の問題により多くの患者さんの中で後発医薬品のイメージがマイナスになってしまった今、その問題を経て、どのような対策を行っていくのか学ぶことが出来たのも、今後に生かすことが出来たと感じた。後発医薬品の付加価値に関して認識していたが、医療従事者向けの付加価値に関しては当たり前のように使用していたものが様々な工夫の上で使いやすくされていたのだということが改めて実感することが出来た。患者さんにあった薬を使うという当たり前ではあるが、重要な点について話されていたことが一番印象に残った。

○昭和薬科大学

講演日時：2021年12月16日（木）12:35～13:55

形式：現地開催

テーマ：「ご存じですか？ジェネリック医薬品」

講師：後藤 秀樹（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会ニュース・講演部会委員）

概要：薬学生向けの啓発活動の一環として、昭和薬科大学の井上先生に1コマをいただき「学生向け教育資材」をもとに講義を行い、4年生約250名の学生の方にご聴講いただきました。

○同志社女子大学 薬学部

講演日時：2021年12月21日（火）より

形式：オンデマンド研修

テーマ：「ご存じですか？ジェネリック医薬品」

講師：酒井 佑介（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会ニュース・講演部会長）

概要：薬学生向けの啓発活動の一環として、「学生向け教育資材」をもとに講義を収録し、オンデマンドによる配信で4年生約120名の学生の方にご聴講いただいています。

講義スライドに関しては、当協会ホームページにて公開しておりますのでご参照ください。実際の講義時には、希望内容・講義時間に応じ調整いたします。

また、同ページ内に、講義依頼の受付フォームがございます。お問い合わせのみでも結構ですので、是非、一度ホームページをご覧ください。

【ご参考】

日本ジェネリック製薬協会ホームページ

薬学生向け資料スライド・薬剤師国家試験過去問解説・講義依頼フォーム設置ページ

https://www.jga.gr.jp/medical/for_student.html

